

地域へ響けこの音色！ 一小鼓笛隊の活動

毎年11月に一小をメイン会場にして催される「狛江市民まつり」地域の絆を深める市民まつりのパレードに、一小鼓笛隊が登場するのを知っていますか？
6年生全員がパレードでの演奏を目標に4月から練習に励んでいます。取材班は、日ごろの練習成果を披露する音楽集会を潜入取材パレードでこの音色が地域に響くのが楽しみ!!



私たちが4月から取り組んできた鼓笛の演奏を全校の皆さんに発表します。狛江第一小学校の伝統として、3月に卒業した6年生から引き継ぎ、練習してきました。頑張ったことは、授業だけでなく、朝や休み時間もそれぞれのパートで練習に励んだことです。心を合わせて演奏しますので、聴いてください。

一小鼓笛隊は6年生が全員でやることに大きな意味があると考えています。伝統として全員で作上げていくという経験が、子どもたちにとってひとつの糧になってほしいという想いで指導をしています。練習では、上手くできないで苦労している子もいますが、それでも子どもたちは「みんなで合わせると楽しい!」という気持ちがあるようです。それは「音楽のちから」ではないかと思えます。

市民まつりでは、鼓笛の音色を楽しみながら、地域の皆さんに聴いて欲しいと思います。



金城美咲 先生

狛江第一小学校鼓笛隊 音楽集会



活動人数:93名 練習場所:音楽室
練習日:音楽の授業時間や朝、休み時間、放課後など
年間の活動:音楽集会(7月)、運動会(10月)、市民まつり(11月)、6年生を送る会(3月)

子どもたちの幸せを願って 地域のみまもり活動

「おはよう!」「今日は早いね!」
今日も大きな元気な声が鳴り響く。
一小の前、通称「あいさつ通り」

学校安全ボランティアとして15年ほど
子どもをみまもり続けてきた
島崎洋子さんにお話を伺いました。

一朝の活動について教えてください。

通学時間帯の声かけ、そして週1度ほど校内の巡回をしています。私自身も子どもが小学生だったとき、笑顔で「おはよう」と言って送り出していたかなどふと思ったことがありました。子育てをしていた頃は忙しかったですが、時間的なゆとりができた今だからこそ、この活動ができています。

一何か心がけていることはありますか？

今は共働き世帯が増えて、朝から働きに出ている親御さんも多くいらっしゃると思います。家族とあまり会話をしないまま、学校に来る子もいるんですね。私は一人ひとりの顔をちゃんと見て、笑顔で「おはよう」と声をかけるように心がけています。何か気づいたときは、

学校安全 ボランティアとは・・・

地域の方々による児童の登下校時の安全を守るためのみまもり活動です。地域の皆さんの目によってみまもられて、子どもたちは安心して学校へ通うことができます。

一言話しかけるようにしています。日々成長していく子どもたちとの触れ合いが生きる刺激となっていて、私自身感謝しながらあいさつしています。

一嬉しかったことや子どもたちへの思いを聞かせてください。

あいさつの積み重ねが習慣になってきているようで、一中の校長先生に一小出身の子どもたちは、みな顔を見てあいさつができると言われたときはとても嬉しくて、続けてきて良



島崎 洋子 さん

狛江の子どもたちには、幸せになってもらいたい。その子らしく、その子が納得する生き方をしてもらいたいと強く願っています。



かったなと思いました。ある日、「おはようって言うとなんか気分が良いね」と話してくれた子がいました。あいさつの大切さに気づけたことは人生の大きな糧になると思います。「おはよう」その一言から広がるコミュニケーションの輪があると思います。

一小を舞台に活躍する子どもたち ホームライオンズ

一小学区の児童で、1年から4年生のジュニアチームと5年から6年生のシニアチームで構成される少年野球チーム。一小を中心に市内のグラウンドで活動しています。40年以上の歴史をもち、平成30年度狛江市大会優勝、多摩川親善大会準優勝などの実績がある強豪チームです。

野球以外にも多摩川清掃への協力や市民まつりへの出店など、地域とのつながりも大切にするホームライオンズに取材班が突撃!



①ポジション②好きな野球選手③楽しいところ④ホームライオンズのすごいところ⑤今後の目標

①サード ②ソフトバンクの柳田選手
③試合をすることで。勝てたときはすごくうれしい。
④元気がよくて、チームワークがいいところです。
⑤秋の大会でヒットやホームランをたくさん打ちたいです!
シニアチームキャプテン 6年 **中堀 正樹さん**

彼らがチームを率いるキャプテンだ!

①ピッチャー ②ソフトバンクの千賀選手
③投げたり、打ったり、走ったり、色々なプレーができるのが楽しいです。
④チームワークがよくて、走塁が得意なところです!
⑤試合で勝って、もっと上の大会に進みたいです。
狛江全体を強くしたいです!
ジュニアチームキャプテン 4年 **溝口 朋哉さん**



溝口 朋哉 さん

指導で大事にしていることは？

私は皆で楽しみながら野球をすることが大事だと考えています。怪我をしないように厳しくする部分はありますが、それだけでは面白くない。まずは、野球が好きになってもらって、できるだけ長く野球を続けてもらえれば良いなと思い指導しています。そうすることで、狛江の野球人口が少しでも増えればと思います。

ホームライオンズの今後の目標は？

試合に勝つことはもちろんですが、子どもがプレーし、親が練習のサポートをし、おじいちゃんおばあちゃんが応援のために観戦する、そんな親子3代で楽しめるチームづくりをすることが目標です。これからは学校や地域の皆さんと協力しながら、子どもたちの元気な声で地域を活性化していきたいです。

ホームライオンズ代表 **曾我 智さん**

曾我さん自身もホームライオンズ出身。息子さんがホームライオンズに所属したことがきっかけで指導者として参加している。

チキさんぽ

一まちを歩けば地域を知る一



普段何気なく通り過ぎていくところに、実は地域の魅力や歴史が。一小周辺の隠れたスポットを一小の金次郎さんが明かしてくれます。

私は一小の2代目金次郎と申します。金次郎は多かれども、狛江では一小にしかおりませぬ。日夜、校門の脇で勉強に励んでおります。今回は、私が読書しながら足で稼いだ「一小周辺の隠れたスポット」を紹介します。

一小の二宮金次郎像。この像は2代目で、1代目は戦時中に金属の供出によって姿を消しました。昭和27年、狛江に町制が施行され、一小が開校80周年を迎えた年に、あらためてこの像が寄贈されました。

えっ! こんなところに古墳?

狛江は5世紀半ばから6世紀半ば頃に多くの古墳が造られた地域として知られています。今でも、まちを歩きながら、気づかずに古墳の脇を通り過ぎていくことがあります。実は、お肉屋さんの隣の写真の場所も古墳なのです。駄倉塚古墳といい、墳丘が削られて擁壁になっていますが、もとは直径30mを超える古墳でした。

昔の野川を体感?

野川は、昭和42年に流路を変更するまで、一小のすぐ近くを流れていました(写真左は昭和40年頃撮影)。台地の谷間の低地を流れ、一小はその低地から緩やかに上る台地の上に位置しています。野川はなくても、一小北東角から下る坂道を歩けば、野川の名残を体感できます。



BACK TO THE SHOWA 狛江駅前の風景

今や人口8万人を超える狛江市。まちの発展には様々なターニングポイントが。小田急線の高架化と狛江駅北口再開発もその一つ。地域の変化を探るため、いざ狛江駅前へ BACK TO THE SHOWA !!



改札口を出て左手には踏切、その奥が一小でした(昭和58年撮影)。朝夕のラッシュ時には開かずの踏切に。開くと同時に子どもたちはダッシュ!(昭和39年撮影)